

令和元年度

第2回 舟形町総合発展計画策定会議

○ 日時：令和元年8月27日（火）

19：00～21：00

○ 場所：舟形町中央公民館3階大ホール ほか

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協 議

【全体会】

- (1) 第7次総合発展計画の構成について（素案）
- (2) 第7次総合発展計画の体系について（素案）
- (3) 短期アクションプランの検討手順
- (4) その他

【専門部会】

- (1) 短期アクションプランについて（素案）
- (2) その他

4. 閉 会

第2回 舟形町総合発展計画策定会議

配布資料一覧

- 資料1 舟形町総合発展計画策定会議 席次表
- 資料2 舟形町総合発展計画策定会議 専門部会名簿
- 資料3 第7次総合発展計画策定の構成（素案）
- 資料4 第7次総合発展計画の体系（素案）
- 資料5 第7次総合発展計画策定スケジュール
- 資料6 重点プロジェクト（素案）
- 資料7 短期アクションプラン（素案）
- 参考1 舟形町人口ビジョン・舟形町総合戦略（概要）
- 参考2 人口推計

舟形町総合発展計画策定会議 席次表

資料 1

舟形町副長 庄司雅人
 舟形町長 森 富広
 策定委員会委員長
 町内会長連絡協議会
 会長 阿部太悦 様

策定委員会副委員長 特別養護老人ホームえんじゅ荘 荘長 坂上 洋 様		まちづくり審議会会長 阿部弘明 様
ラッキーバッグ株式会社 薬剤師 大橋史広 様		まちづくり審議会会長代理 吉田達也 様
舟形小学校PTA 会長 植松路子 様		まちづくり審議会委員 野尻和彦 様
舟形町社会教育委員 会長 小國 隆 様		まちづくり審議会委員 大場美登理 様
もがみ南部商工会舟形支部 支部長 八鍬雅章 様		まちづくり審議会委員 沼沢 龍 様
舟形町認定農業者協議会 副会長 大場和司 様		まちづくり審議会委員 森貴久子 様
子育て世代 豊岡美香 様		まちづくり審議会委員 渡邊千賀子 様
舟形町消防団 副団長 加藤嘉久 様		まちづくり審議会委員 渡辺千代恵 様
福寿野自主防災組織 副会長 佐藤日出夫 様		まちづくり審議会委員 信夫貴吉 様
		まちづくり審議会委員 富樫美貴 様
		まちづくり審議会委員 伊藤隆子 様
事務局		

(福祉健康) 3階大会議室

坂 上 洋 (特別養護老人ホームえんじゅ荘 荘長)
大 橋 史 広 (ラッキーバッグ株式会社 薬剤師)
渡 邊 千賀子 (まちづくり審議会)
森 貴久子 (まちづくり審議会)
沼 澤 伸 一 (健康福祉課長)
東 村 貴 恵 (健康福祉課長補佐)

(教育文化) 2階研修室

植 松 路 子 (舟形小学校PTA 会長)
小 國 隆 (舟形町社会教育委員 会長)
渡 辺 千代恵 (まちづくり審議会)
大 場 美登理 (まちづくり審議会)
鍛 冶 紀 邦 (教育委員会教育課長)
高 橋 真 澄 (教育委員会教育課長補佐)
佐 藤 仁 (健康福祉課長補佐)

(産業経済) 2階和室 1

八 鞆 雅 章 (もがみ南部商工会舟形支部 支部長)
大 場 和 司 (舟形町認定農業者協議会 副会長)
沼 沢 龍 (まちづくり審議会)
富 樫 美 貴 (まちづくり審議会)
小 野 芳 喜 (まちづくり課長)
斎 藤 雅 博 (農業振興課長補佐)
佐 藤 拓 (農業振興課農政企画係長)

(地域づくり) 2階和室 2

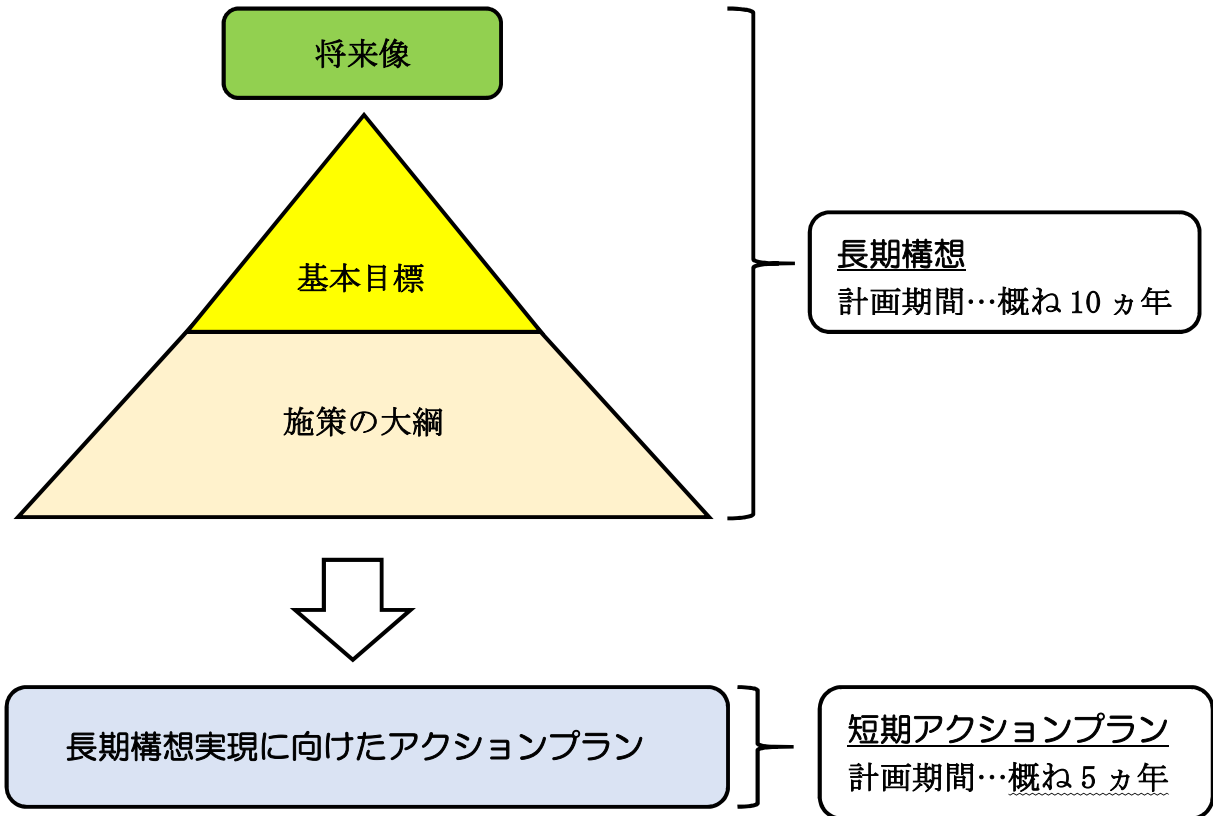
阿 部 太 悦 (町内会長連絡協議会 会長)
豊 岡 美 香 (子育て世代)
伊 藤 隆 子 (まちづくり審議会)
曾根田 健 (まちづくり課長補佐)
梅 津 拓 真 (まちづくり課企画調整係主任)

(防災安全) 2階小会議室

加 藤 嘉 久 (舟形町消防団 副団長)
佐 藤 日出夫 (福寿野自主防災組織 副会長)
野 尻 和 彦 (まちづくり審議会)
伊 藤 茂 樹 (住民税務課長)
伊 藤 英 一 (地域整備課長補佐)

(生活環境) 1階和室

阿 部 弘 明 (まちづくり審議会)
吉 田 達 也 (まちづくり審議会)
信 夫 貴 吉 (まちづくり審議会)
伊 藤 武 美 (地域整備課長)
相 馬 広 志 (住民税務課長補佐)
沼 澤 友 幸 (まちづくり課企画調整係長)
石 川 忍 (まちづくり課地域支援係長)
松 原 峻 (住民税務課危機管理室主任)



- ・長期構想… 計画期間概ね10ヵ年、町の将来像とそれを達成するための諸施策の基本方針を整理するもの。

※時点修正した舟形町人口ビジョンを盛り込む

- ・短期アクションプラン… 計画期間概ね5ヵ年、「長期構想」に基づいた施策の展開方法及び具体的な施策を定めるもの。

※次期舟形町総合戦略と一体の計画として策定

第7次総合発展計画の体系（素案）

資料 4

※ 「【新規】～」の項目は、第7次総合発展計画から新規で追加されるもの。

基本目標		長期構想_第7次施策の大綱（案）	短期アクションプラン_基本施策（案）	短期アクションプラン_具体的施策（案）※	関係課	
6本の柱	1 笑顔を保つまち (福祉健康)	1 生涯を通じた健康づくりの推進	1 保健・医療の充実	地域医療との連携の強化、二次医療圏供給体制の確保	健康福祉課	
			2 健康寿命の延伸	生活習慣病対策の強化と重症化予防、【新規】がん予防対策の推進、こころの健康づくりの推進、生涯を通じた口腔機能の維持、医療費適正化の推進		
		2 高齢者・障がい者が輝く共生社会	3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	社会参画・生きがいつくり等の支援、地域支え合い、【新規】認知症の人と支える家族へのサポート		
			4 障がい者がいきいき暮らせるまちづくり	【新規】こころのバリアフリーの推進、療育体制の充実・強化、就労の促進		
	2 町の「宝」を守り育てるまち (教育文化)	1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	1 出会い・結婚・出産・子育てへの支援充実	結婚支援、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援、【新規】経済的負担の軽減	まちづくり課、健康福祉課、教育委員会	
			2 保育機能の充実	保育サービスの充実、【新規】就学前教育、【新規】放課後児童支援	健康福祉課、教育委員会	
		2 ともに生きる力を育成する教育の推進	3 学校・家庭・地域・行政による町ぐるみ教育の充実	確かな学力の育成、地域に学び、地域を愛する教育の充実、【新規】小・中学校の施設整備と教育環境の充実、【新規】職業観・勤労観の育成	教育委員会	
			3 生涯学習の推進と文化スポーツの振興	4 生涯学習の推進		【新規】学校・家庭・地域の連携協働推進、青少年の健全育成、成人・高齢者教育の推進、【新規】読書活動の推進
				5 芸術文化の振興と文化財の活用		芸術文化活動の振興、【新規】縄文の女神の活用、文化財の保全と伝承
			6 スポーツの振興	子どもの体力・運動能力の向上、健康スポーツ・競技スポーツの推進		
	3 地域の魅力・活力を生み出すまち (産業経済)	1 地域の強みを生かした農林水産業の振興	1 儲かる農業の推進	経営体・担い手の育成及び法人化の推進、【新規】売れる米づくり、【新規】園芸農業の推進、【新規】スマート農業の導入、生産基盤と施設の近代化、農林水産業を起点とした6次産業化の推進	農業振興課	
			2 林業・内水面漁業の持続的推進	林業の成長産業化、内水面漁業の持続的推進		
		2 地域に根差した産業振興	3 商工業の持続的推進	企業の維持・発展と雇用の創出、町内商店の商業機能の維持	まちづくり課	
			4 交流・関係人口の拡大	観光から交流へ、地域資源の有効活用、【新規】縄文の女神の商品開発、【新規】各種イベントや施設情報の発信、【新規】ふるさと納税の推進		
	4 つながり、支え合うまち (地域づくり)	1 持続可能な地域づくり活動の推進	1 コミュニティ活動の推進	単位自治組織の活動支援、【新規】地域運営組織の構築と活動の推進、【新規】地区公民館の運営・整備の支援	まちづくり課	
			2 多様な担い手による活躍の推進	NPO等の地域ボランティア活動の推進、【新規】多種多様な人材活用の推進、若者の主体的な活動の推進、男女ともに活躍できる環境づくり		
	5 くらし・生命を守るまち (防災安全)	1 地域の安全の確保	1 防災・危機管理の充実	【新規】災害に備えた基盤整備、消防防災体制の充実、【新規】自主防災組織の育成、【新規】防災無線等の情報システムの活用、【新規】災害時の対応力の強化、【新規】防災教育	住民税務課	
			2 防犯・交通安全対策	地域安全対策の推進、交通安全意識の高揚と安全対策		
			3 雪に強いまちづくりの推進	除雪体制の充実、協働による雪処理の体制づくり、融雪システムの取り組み		地域整備課、まちづくり課
	6 快適なくらしを叶えるまち (生活環境)	1 生活を支える社会資本の整備・機能強化	1 道路・河川・水道・下水道・交通の整備	道路網の整備、【新規】最上小国川かわまちづくり事業等による河川の整備、水道施設の維持管理、下水道施設の維持管理、公園の維持管理、公共交通体系の整備	地域整備課、まちづくり課	
2 安心して暮らせる住環境等の整備			2 U J I ターンの促進	【新規】孫プロジェクト等によるUターン施策の展開、【新規】移住施策の展開		まちづくり課
		2 安心して暮らせる住環境等の整備	3 住環境の整備	定住環境の整備、【新規】空き家対策	地域整備課、住民税務課	
4 持続可能な環境づくり			生活環境の保全、循環型社会の推進、エネルギー政策の推進、畜場の環境整備の推進	住民税務課、まちづくり課		

1つの基盤	7 健全で持続可能な行政運営	1 時代にあった行政運営	1 財政の健全化	財政健全化への対応、財源の確保、公共施設等の適正管理、公営企業等の経営健全化	総務課
			2 行政の効率化	事務改善の推進、職員の人材育成、【新規】民間活力及びICTの活用推進、広域連携の推進	総務課、まちづくり課
		2 情報力の強化	3 情報発信・広聴の強化	【新規】情報発信の強化、【新規】広聴活動の充実	まちづくり課

第7次総合発展計画策定スケジュール

資料5

会議及び期日	主な内容
6月定例会 全員協議会 令和元年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の策定体制について ・ 〃 の策定スケジュールについて ・ 〃 の構成（素案）について ・ 〃 の体系（素案）について
第1回策定会議 令和元年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の策定スケジュールについて ・ 〃 の構成（素案）について ・ 〃 の体系（素案）について
第2回策定会議 【全体会・専門部会①】 令和元年8月27日	<p>【全体会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の構成（素案）について ・第7次総合発展計画の体系（素案）について ・検討手順の共有 <p>【専門部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期アクションプラン（素案）
9月定例会 全員協議会 令和元年9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告 検討の進捗状況
第3回策定会議 【専門部会②】 令和元年10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・短期アクションプラン（素案） <p>※必要に応じて専門家の招へいによる検討。</p>
第4回策定会議 令和元年11月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申（原案）の概要 長期構想（原案） 短期アクションプラン（原案） <p>※各専門部会からのプレゼンテーションによる共有と意見交換。</p>
12月定例会 全員協議会 令和元年12月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画（原案）の説明 長期構想（原案） 短期アクションプラン（原案）
第5回策定会議 令和2年1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申（案）の概要 長期構想（案） 短期アクションプラン（案）
第6回策定会議 【書面決議】 令和2年2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の答申の概要 長期構想 短期アクションプラン
3月定例会 全員協議会 令和2年3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の説明 長期構想 短期アクションプラン
舟形町 令和2年3月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合発展計画の決定 長期構想 短期アクションプラン

※上記策定スケジュールは検討の状況によって、変更になる場合がある。

～ 重点プロジェクト(素案) ～

資料 6

基本構想に掲げるまちの将来像「町民一人ひとりが幸せを実感できる町」の実現のために、まちづくりの目標を定め、領域別にまちづくりの理念、方向性や取り組む施策を示していますが、町が抱えている人口減少や少子高齢化などの課題の解決には、領域の垣根を越え重点的かつ横断的に取り組むことも重要です。

短期アクションプラン期間内において、重点的かつ横断的に取り組む施策を「重点プロジェクト」として位置づけ、具体的な施策の取り組みを積極的に進めます。

(1) 元気 100 歳プロジェクト

○取り組みの内容

元気で健康に生きることは誰しもの願いです。町では、町民のみなさんが笑顔で毎日の生活を送れるように支援していきます。また、町民のみなさんが主体的に健康づくりを進めるために目標値を掲げ、様々な支援を展開しています。

乳幼児期から高齢期に至るまで、一人ひとりの適性や体力に応じた健康づくりに取り組むことにより、健康感や生きがい感を高め健康寿命の延伸を目指します。

(2) 少子化対策・子ども育成プロジェクト

○取り組みの内容

結婚、出産、子育ての希望が叶えられ、子どもの笑顔があふれる町を目指して取り組みを推進します。経済的理由や子育てと仕事の両立の点などからあきらめることがないように、ライフスタイルを通じた総合的な支援により、町民すべての「みんなの少子化対策」を目指します。

(3) 定住・移住プロジェクト

○取り組みの内容

これまで以上に「住んでいる人が誇れる町」を目指し、各種事業を推進します。さらに、将来を担う子どもたちが、「舟形町に住みたい」と感じ選んでもらえるように、地域を深く理解し郷土愛を育む取り組みを行います。

また、町の魅力や多様な支援策の情報を移住セミナーや様々な媒体で積極的に発信し、町外からの移住者確保につなげていきます。

(4) ICT 活用プロジェクト

○取り組みの内容

国が目指すべき未来社会の姿として提唱する Society 5.0^{*}は、IoT^{*}やAI(人工知能)、クラウド、ドローン、自動走行車・無人ロボットなどの最新テクノロジーの活用により、最終的には少子高齢化・地域格差・貧富の差による課題解決を目指すものです。

町では町民や事業者等が ICT 技術の活用による具体的なメリットを実感できることを目指します。特に、光ファイバや 5G^{*}などの活用による新たな行政サービスにより、地域課題の解決や町民の生活の利便性向上につなげていきます。

※Society5.0…

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

※IoT…

従来インターネットに接続されていなかった様々なモノ（センサー機器、駆動装置、建物、車、電子機器など）が、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みです。モノのインターネットといわれる。

※5G…

第5世代移動通信システム

舟形町人口ビジョン

2015年度～2060年度

参考 1

1 山形県版人口ビジョンにおける将来展望

将来展望

平成 72 (2060) 年に概ね
79 万人程度

国立社会保障・人口問題研究所の推計では本県人口は平成 72 (2060) 年までに 61 万人に減少

○合計特殊出生率

- ・平成 32 (2020) 年「1.7」
- ・平成 42 (2030) 年「1.9」
- ・平成 47 (2035) 年「2.07」

○社会動態

- ・平成 32 (2020) 年「本県と東京圏が均衡」
- ・平成 52 (2040) 年「本県と東京圏以外が均衡」

2 舟形町人口ビジョン

【人口の動向分析】

◆総人口

- ・昭和 30 (1955) 年をピークにその後は減少。近年は社会的な少子高齢化の影響もあり、減少が加速。
- ・平成 22 (2010) 年には約 6,200 人。

◆自然動態

- ・合計特殊出生率は平成 25 (2013) 年で「1.46」。
- ・平成 21～25 年の自然動態は、自然減 100 人前後で横ばいとなっている。

◆社会動態

- ・平成 21～25 年の社会動態は、転出超過で推移。
- ・特に、進学・就職・結婚等のライフイベントにより、「20～24 歳」で大幅な転出超過となっている。

【目指すべき方向】

- ◆出生数減少の抑制
- ◆住宅のまち・舟形の環境整備
- ◆移住者 (UJiターン) の受け入れ促進

戦略人口 (独自シミュレーション②)

2040 年: 4,000 人超

2060 年: 3,000 人超

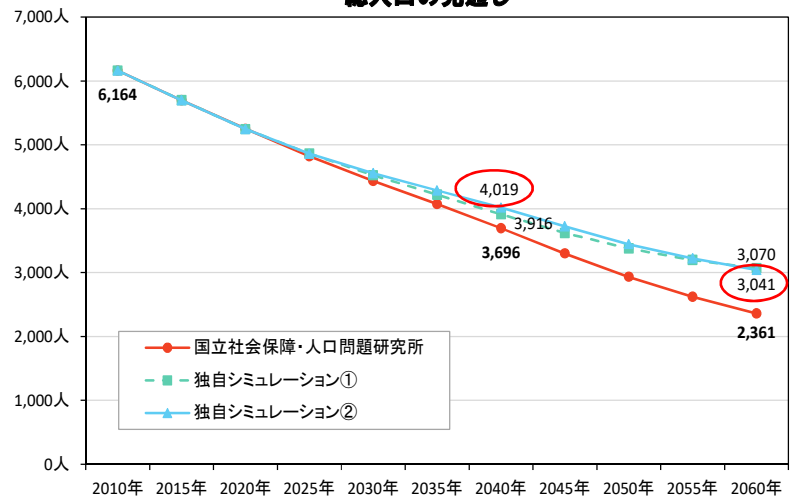
趨勢人口

(国立社会保障・人口問題研究所推計)

2040 年: 3,696 人

2060 年: 2,361 人

総人口の見通し



【独自シミュレーション①】

合計特殊出生率が上昇 (2025 年以降: 2.50) するとともに、転入数が転出数を上回る (純定住率が 2060 年までに「1」まで上昇)

【独自シミュレーション②】

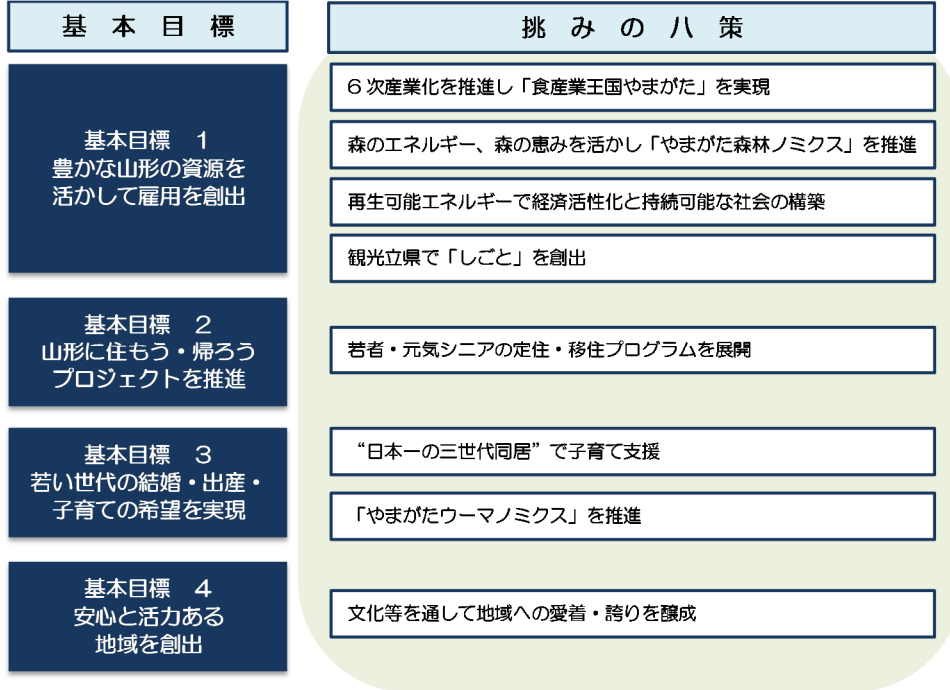
<自然動態> 合計特殊出生率が上昇 (2030 年以降: 2.19)

<社会動態> 転入数が転出数を上回る (純定住率が 2040 年までに「1」まで上昇し、その後均衡)

舟形町総合戦略

2015年度～2019年度

1 やまがた創生総合戦略 ～「自然と文明が調和した理想郷山形」を目指して～



2 舟形町総合戦略施策の体系

基本姿勢：「縄文ルネサンス 理想郷ふながた」の創生

基本目標

舟形町で「働きたい」～魅力ある“しごと”を創る～	舟形町に「住みたい・帰ってきたい」～選ばれる“まち”を創る～	舟形町で「産み、育てたい」～若い“ひと”を応援する～	舟形町で「暮らし続けたい」～ひと”をつなぐ安全・安心な地域を創る～
1) 農林水産業の生産・経営体制の強化と6次産業化による雇用の創出 2) 観光を軸とした、地域内経済循環の仕組みづくり 3) 多様な就業の機会づくりの創出による雇用力の強化 4) 周辺地域と連携した企業誘致の促進	1) UJターンに関する各種情報提供の充実 2) UJターン者の受け入れ環境の整備 3) 県内及び町内企業への就職を希望する若者への支援の充実 4) 多彩な交流による人の流れの促進	1) 出会いの場や機会づくりの推進 2) 出産から子育ての切れ目のないサービス支援体制づくり 3) 健全な子ども・青少年育成のための教育環境の整備充実 4) 子育て世代を対象とした住環境の整備 5) ワーク・ライフ・バランスの推進による男女ともに活躍できるまちづくりの推進	1) 防雪・防災対策の強化による安全なまちづくりの推進 2) 生活基盤の整備やコミュニティ維持による住みよいまちづくりの推進 3) 誰もが安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりの推進 4) 住民が誇りと愛情を持てるまちづくりの推進 5) 広域連携による相互補完と定住性の高いまちづくりの推進